

庁舎周辺整備の基本的な考え方について

1. 東庁舎周辺整備における基本方針(案)

1. 残せるものを活かしつつ、機能を再配置した小規模多機能自治にふさわしい庁舎

- 東庁舎は、最大限、活用することを前提として、耐震改修や設備改修、バリアフリー改修など、必要な整備を行います。
- これまで分散していた様々な行政窓口機能を集約するなど、各施設の機能及び新たに必要とされる機能等を適正に再配置することで、小規模多機能自治にふさわしい庁舎を目指します。

2. 西庁舎周辺整備における基本方針(案)

1. 住民福祉の向上や住みよい地域整備

- 西庁舎周辺には、石部中学校区における地域自治の拠点となる市民向け複合施設を新たに配置します。
- 石部診療所、地域包括支援センター機能を西庁舎周辺へ移転します。
- 多くの市民が集まる場として、市民同士の交流を生む、市民に開かれた施設整備を目指します。

2. 市民の安全・安心な暮らしを支える防災性の高い庁舎

- 東庁舎周辺では、高度な耐震機能を備え、大規模災害の発生時には救助や復旧・復興に向けた指揮活動、情報収集など、災害復旧・復興活動の機能を担う防災性の高い庁舎を目指します。
- 西庁舎周辺では、湖南中央消防署(石部分署)及び石部防災センターは、既存のまま継続利用するとともに、西庁舎周辺では、市民向け複合施設と石部防災センターとの取組み連携を図り、地域の防災性向上を目指します。

3. 社会情勢の変化に対応できる長寿命で柔軟性の高い庁舎

- 今後の社会経済情勢の変化を踏まえた将来の行政組織等の変化に対応できる柔軟性の高い庁舎を目指します。
- ICT や DX を活用した行政手続き等の行政サービスの提供や、多様化する市民ニーズに応える施設整備を目指します。
- 年齢や障がいの有無にかかわらず、誰にとっても使いやすく、わかりやすいユニバーサルデザインの考え方に基づいた庁舎を目指します。
- 職員の機能的・効率的な執務環境を整えた庁舎を目指します。

4. 地球環境に配慮した庁舎

- 自然エネルギーの有効利用や省エネルギー化、省資源化を図り、地球環境に配慮した施設整備を目指します。



庁舎整備のコンセプト(案)



人口減少・少子高齢化の進展、DX や IoT など科学技術の進展、多様化・複雑化する市民のライフスタイルや行政ニーズなど、社会の変化を力に変え、地域自治や市民の安全・安心な日々の暮らしを支える、人や環境にやさしい庁舎を目指します。

「ずっとここに暮らしたい!

みんなで創ろう

きらめき湖南」